

企業進出へのインセンティブ

環境・エネルギー技術革新企業集積特別助成金

環境・エネルギー産業のうち、技術革新につながる材料・製品・製造措置に関する研究・開発施設、工場

設備補助……………最大10億円の助成制度



設備投資額の **7%**

市の産業用地を
購入する場合

設備投資額の **14%**



建物、土地、設備の
年間賃借料(初年度)の

1/2

雇用補助……………助成額の上限なし



新規常用雇用 **30**万円/人

研究開発費 100万円/人



但し、短時間
労働者の場合 **15**万円/人

※ご利用にあたっては、事業着手前に事業計画書を提出頂く必要があります。
適用要件がございますので、詳細はお問合わせ下さい。



GREEN ENERGY PORT HIBIKI

グリーンエネルギーポートひびき

北九州市



風力発電産業

発行：北九州市港湾空港局立地促進課

〒803-8501 北九州市小倉北区城内1-1

TEL:093-582-2994 WebSite:<http://www.kitaqport.or.jp/index.html>

北九州市印刷物登録番号 第1017018B(11.03)

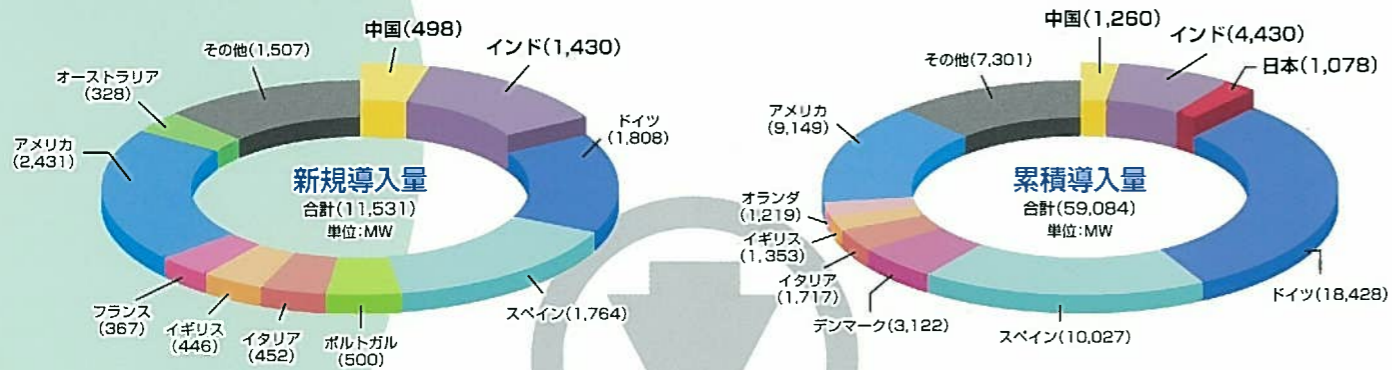
リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

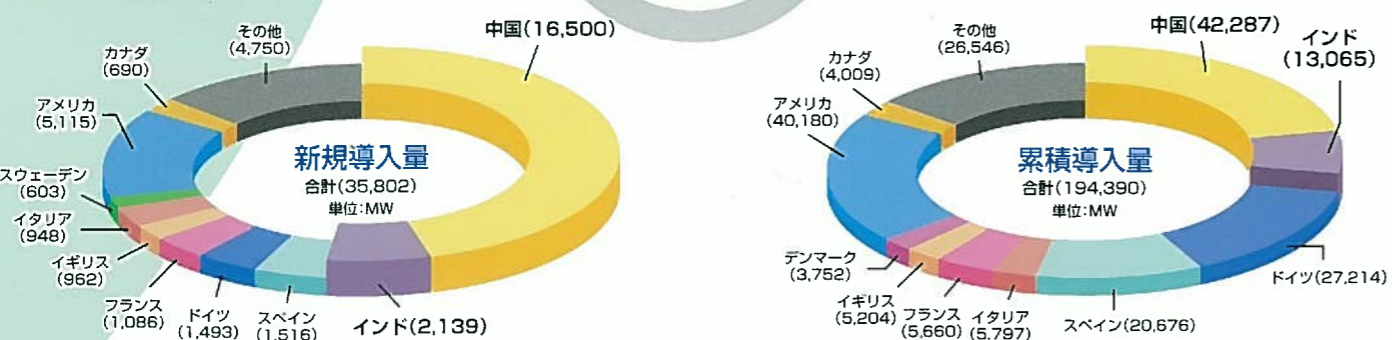
FUTURE OF WIND POWER INDUSTRY

拡大するアジア

風力発電新規導入量及び累積導入量(2005年)



風力発電新規導入量及び累積導入量(2010年)



出典：GWECのGlobal Wind 2005 Report
Global Wind statistics 2010

2010年の新規導入量は、中国が世界1位。
累積導入量でも世界1位に。2005年と比較すると33.5倍もの急速な成長

風力発電は欧州を中心としたマーケットでしたが、
中国の設置数増加により、アジア地区も主要マーケットになっています。



～広がる無限の可能性～

洋上化・大型化へ 進む各国の取り組み

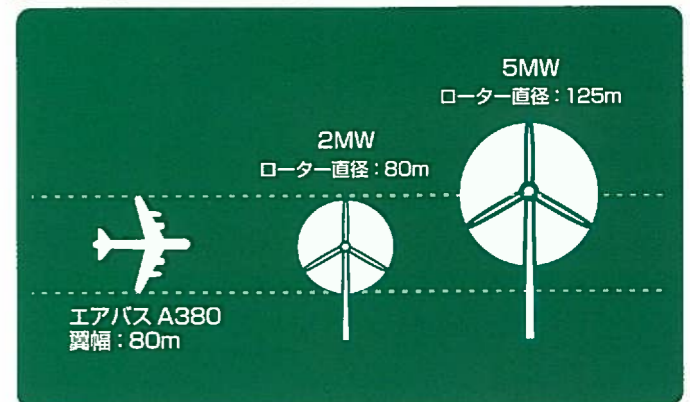
各国の風力発電導入目標

国	導入量	目標年	内訳
イギリス	40GW	2020年	洋上のみ
ドイツ	25GW	2030年	
フランス	6GW	2020年	
アメリカ	54GW	2030年	
韓国	2.5GW	2019年	
中国	150GW	2020年	

※2010年の世界全体の集積導入量は約194GW

風力発電産業の先進地域である欧州では、洋上風力発電導入目標を掲げている国が多く、今後風力発電の設置場所が陸上から洋上へとシフトすることが予想されます。

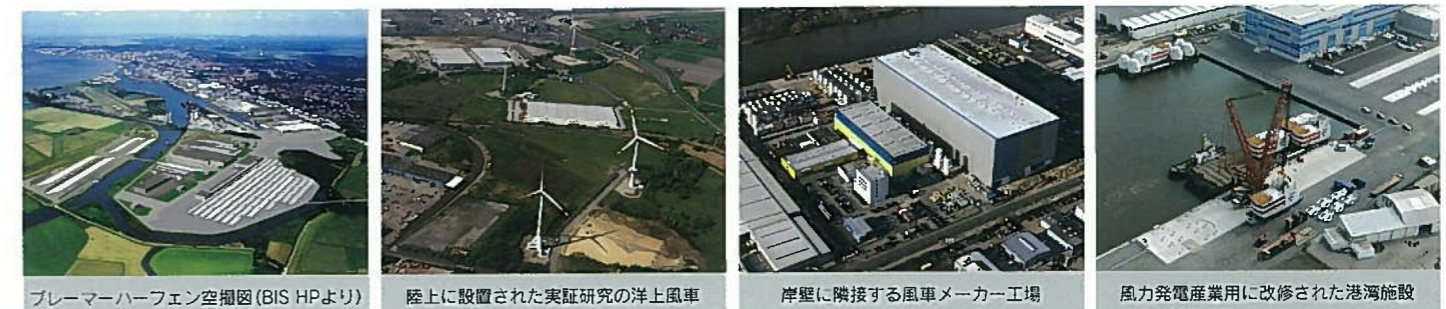
風車の大型化



風車の出力は大きさに比例し、発電コストも低下するため、年々大型化が進んでいます。

現在、陸上では2~3MW級が主力となっており、洋上では5MW級の風車も導入されています。また、洋上では今後更なる大型化が予想されます。

風力発電産業欧州総合拠点



洋上化・大型化が進むことにより、風力発電産業は効率的な海上輸送や港湾インフラに直結した工場用地が必要とされています。ドイツにあるブレーマーハーフェンは港湾都市として発展してきた歴史的特性を活かし、風力発電産業用に港湾インフラを整備、また実証研究から製造まで一貫して行える環境を整えているため、風力発電関連企業の集積に成功し、風力発電産業総合拠点として発展しています。

優位性 北九州市



北九州市は、中国をはじめとするアジアに近接しており、国内のみならずアジアへの展開を睨んだ事業戦略拠点に最適です。
また北九州市には、アジアのブレーマーハーフェン=風力発電産業総合拠点となりうるポテンシャルを秘めた「響灘地区」があります。

総合拠点へ 北九州市響灘地区のポテンシャル

1. 充実した港湾インフラ



風車の大型化・洋上化が進むことに伴い、海上輸送が不可欠になっています。

響灘地区には、西日本最大級の水深を擁するひびきコンテナターミナル、コンテナ以外の貨物に対応する、響灘南岸壁といったあらゆる輸送モードに対応する充実した港湾インフラで風力発電産業の国際競争力を高めます。

2. 広大な産業団地

響灘地区は港湾インフラに隣接する広大な産業用地を擁しているため、風力発電産業の集積が可能です。

同地区では市の産業用地の他、民間地権者が一体となって調和のとれた開発を進めることを目的とした「響灘地区開発推進協議会」を設立し、響灘地区のポテンシャルを活かしたPR活動や企業立地推進活動を進めています。

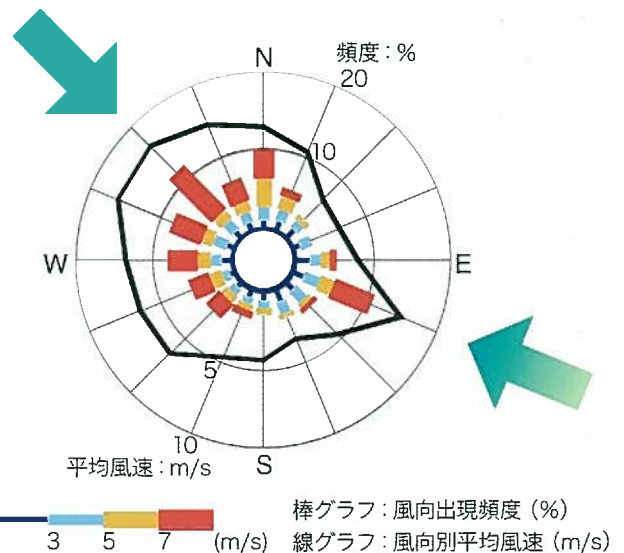
分譲可能面積

響灘臨海工業団地	約23ha
新日本製鐵株式会社	約144ha
九州工業株式会社	約51ha
ひびき灘開発株式会社	約9ha

3. 実証研究の環境

響灘地区は、北西方面・東南東方面からの風が多く、平均風速は地上高50mで6.6m/s、70mで6.8m/sと安定した風況で、実証研究を行うのに最適な環境です。

響灘地区の風配図



風力発電産業アジア総合拠点 響灘地区



イメージ図 ひびきコンテナターミナル



イメージ図 風車メーカーゾーン



イメージ図 響灘南岸壁





GREEN ENERGY PORT HIBIKI グリーンエネルギーポートひびき構想とは

目的

充実した港湾インフラ・広大な産業用地といった、風力発電産業が必要としているポテンシャルを持った響灘地区へ風力発電産業を集積、実証研究から製造、メンテナンスまで一貫して行える環境で国際競争力強化を進め、風力発電産業アジア総合拠点を目指します。



取り組み

響灘地区の優位性を活かした風力発電産業の集積を目指し、風車・部品メーカーを中心とした企業訪問、そして産業振興、国・業界団体との連携、イベント・PRといった面からもアプローチを行い企業立地活動に取り組んでいます。

<平成22年度の取り組み>

- ・産業振興と企業集積を目指し、国内初となる自治体主催の風力発電産業シンポジウムを日本風力発電協会と共催、関係省庁と連携して開催
- ・大型化する風車・部品の効率的な海上輸送に対応した港湾インフラの整備等、響灘地区のポテンシャルの向上のため、国の総合特区制度に本市の主要プロジェクトとして「グリーンエネルギーポートひびき構想」を提案
- ・グリーンエネルギーポートひびき構想を関係者に幅広く周知するため、新エネルギー関連の国内最大級の展示会に出展
- ・企業間相互連携、産学官連携強化を図るため、本市及び周辺に進出している風力発電関連企業との情報交換会の開催

北九州市風力発電シンポジウムin東京を開催

(平成22年5月27日 グランドプリンスホテル新高輪)



自治体初の試みであるこのシンポジウムには、北橋市長や日本風力発電協会代表理事の講演や、産学官(電力事業者、風車メーカー、経産省、国交省、環境省、学識者)によるパネルディスカッションを行い、関係者250名以上に参加していただきました。

第5回新エネルギー世界展示会への出展

(平成22年6月30日～7月2日 パシフィコ横浜)



4万人が来場した国内最大級の展示会に出展。本市ブースに3,500名以上の方が立ち寄り、本市の取り組みを幅広くアピールしました。

企業進出状況

風力発電事業者	株式会社エヌエスウインドパワーひびき(平成15年 稼動開始)
部品メーカー	日本ロバロ株式会社(ベアリング製造 平成19年進出)
風車メンテナンス	株式会社北拓(平成23年進出)
実証研究	電源開発株式会社 (平成21年 NEDOの洋上風況観測システム実証研究を受託)

響灘地区には風力発電関連企業が数社進出、事業を展開しています。

今後も更なる企業集積を進め、風力発電産業アジア総合拠点化を目指します。